

文化講演会

フランク安田

—アラスカでエスキモーになった男—

2017年11月11日(土)

開 場 | 13時

開 演 | 13時30分～15時

会 場 | 石巻市立雄勝小・中学校(三階 多目的ホール)

入 場 | 無 料

対 象 | 小学校中学年からお年寄りまで

(当日はなるべくスリッパを持参してください)



主催 | 特定非営利活動法人雄勝まちづくり協会 共催 | 石巻市雄勝文化協会 / 石巻市雄勝公民館 / 石巻市雄勝地区復興応援隊
協力 | 石巻市立雄勝小学校 / 石巻市立雄勝中学校 / 石巻市心の復興事業 / 公益財団法人三菱商事復興支援財団

フランク安田 波乱の生涯



フランク安田（安田恭輔）は、明治

元年、石巻市湊町で、代々医業を営む

安田家の三男として生まれました。

祖父、父に次ぎ将来は医者となる

運命にあった安田の人生は、両親の

死がきっかけで一転してしまいます。

十五歳という若さで、一人で生きる道を考えなければならなくなった

安田は、荻野浜（牡鹿郡）の汽船会社で働き始めます。やがて、外国

航路の見習い船員となり、運命のいたずらか、アラスカの最北の町、

ポイントバローに辿り着き、エスキモーたちと暮らすことになりました。

しかし、さらなる試練が安田の前に立ちはだかり、飢餓に苦しむエス

キモー、二〇〇人を引き連れ、八〇〇kmもの集団移住を決定します。

その後、ユーコン川のほとりにビーバー村と呼ばれる村を築く偉業を果たし

ますが、「安田恭輔」から「フランク安田」になるまでの人生はどのような

ものだったのでしょうか。なぜ、アラスカの地で村を築くことになったのでしょうか。

郷土の偉人、フランク安田の人生から生き方を学べる貴重な講演です。

講師紹介

遠藤 光行（えんどう みつゆき）氏

1949年生まれ。石巻市雄勝町出身。

東京学芸大学卒業後、38年間小学校

で教鞭をとり、その傍ら旧雄勝町

及び石巻市教育委員会や宮城県教育

委員会などで社会教育主事として、

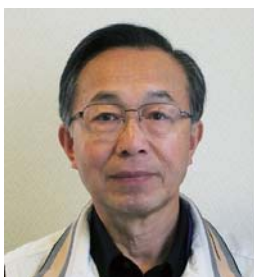
社会教育に携わってきた。湊小学校校長時代には、郷土の偉人

で同校卒業生の「フランク安田」や「高橋英吉」を教材化し、

退職後も郷土の先人の語り部として、石巻市内の公民館などで

講演活動を行っている。現在は利府町郷土史会で事務局として

活動。また石巻専修大学で非常勤講師を務めている。



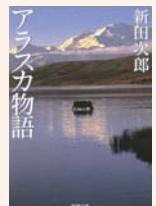
たずさ

みなと

きょうど いじん

フランク安田は
本と映画になっています

東宝『アラスカ物語』
1977年制作



新潮社『アラスカ物語』
新田次郎／著

お問合せ

NPO法人 雄勝まちづくり協会

0225-90-3770

※第2、4火曜、毎週水曜日は休館日